

平成16年度版 文献シート

- 掲載項目 -

干潟と海域環境との関係

潮流、潮汐等と海域の環境との関係

海域に流入する水の汚濁負荷量と海域の環境との関係

海域に流入する河川の流況と海域の環境との関係

土砂の採取と海域の環境との関係

赤潮、貧酸素水塊等の発生機構

海域の環境と水産資源との関係

その他

- 目 次 -

1. 文献シートの作成対象文献の選定	1
2. 文献シートの構成	10
3. 文献シート	11
干潟と海域環境との関係	12
潮流、潮汐等と海域の環境との関係	18
海域に流入する水の汚濁負荷量と海域の環境との関係	34
赤潮、貧酸素水塊等の発生機構	42
海域の環境と水産資源との関係	58

1. 文献シートの作成対象文献の選定

有明海 八代海総合調査評価委員会小委員会において、図 1 に示す方法により文献を選定し、文献シートを作成した。

なお、 海域に流入する河川の流況と海域の環境との関係、 土砂の採取と海域の環境との関係及び その他に関する文献は、文献シート作成の対象とならなかった。

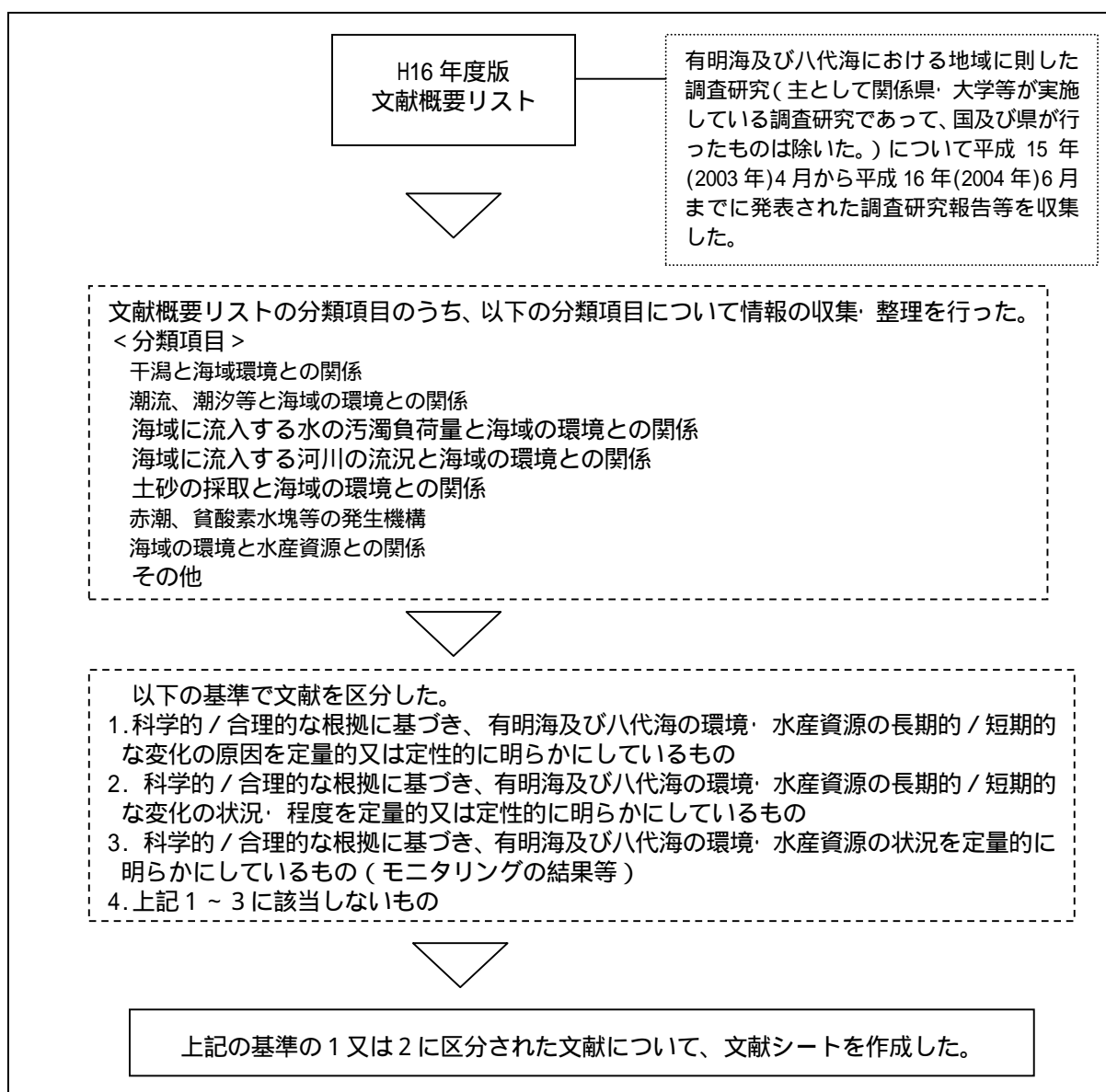


図 1 文献シート作成対象文献の選定方法

文献シート作成の対象となった文献を、表 1、表 2、表 3、表 4 及び表 5 に示す。なお、文献シートの作成対象となった調査研究報告は計 46 題である。

表 1 干潟と海域環境との関係に関する文献シート

	分類	文献名	著者	出典	巻,号,頁	発行年
H16	-3	Water Purification Function and Removal Characteristics of Inorganic Nitrogen in a Tidal Mud Flat	SEGUCHI M, KORIYAMA M(Saga Univ., Saga, JPN)	佐賀大学農学部彙報	NO. 89; PAGE. 157-168	2004
H16	-5	Annual Variations of Tide Level and Mudflut Profile	YAMADA F (Kumamoto Univ., Kumamoto, JPN), KOBAYASHI N (Univ. of Delaware, DE)	JOURNAL OF WATERWAY PORT COASTAL AND OCEAN ENGINEERING	VOL. 130 NO. 3; PAGE. 119-126	2004
H16	-7	陸上からの物質の流入が有明海沿岸生態系に及ぼす影響	堤裕昭(熊本大)	応用生態工学会 第7回研究発表会 講演集	VOL.7 PAGE.253-256	2003
H16	-11	有明海における海底堆積物の粒度分布とCN組成	近藤寛,東幹夫(長崎大 教育),西ノ首英之(長崎大 水産)	長崎大学教育学部 紀要 自然科学	NO. 68; PAGE. 1-14	2003
H16	-12	調整池による浄化機能の喪失とその影響	佐々木克之	沿岸環境関連学会連絡協議会第10回ジョイントシンポジウム「有明海生態系異変原因解明の到達点」	PAGE.24-31	2003
H16	-24	有明海奥部における浮泥の挙動と低次生産への影響	杉本隆成(東京大学海洋研究所),田中勝久((独)水産総合研究センター中央水産研究所,佐藤英夫((株)ファイラムダ	沿岸海洋研究	VOL.42 NO.1;PAGE. 19-25	2004

表 2(1) 潮流、潮汐等と海域の環境との関係に関する文献シート

	分類	文献名	著者	出典	巻,号,頁	発行年
H16	-1	Recent Studies on Ocean Environment of Ariake Sea	Yusaku Kyozyuka(Kyushu Univ.)	Proceedings of international symposium on ocean edited by National Maritime Research Ins	PAGE. 469-475	2003
H16	-3	海域における潮流の変化	矢野真一郎,藤田和夫,小松利光(九大工),西ノ首英之(長大水),齋田倫範,田井明,伊藤和彦(九大院工)	有明海・八代海研究者会議(公開シンポジウム)資料	PAGE.25-33	2004
H16	-4	有明海の潮汐・潮流の変化と諫早湾干拓事業	宇野木早苗	沿岸環境関連学会連絡協議会第10回ジョイントシンポジウム「有明海生態系異変原因解明の到達点」	PAGE.8-15	2003
H16	-5	PIV と輝度法による有明海水理模型の可視化実験	吉川拓郎(IHI マリユナイテッド),佐藤徹,土屋好寛(東大)	可視化情報学会誌	VOL. 23 NO. Suppl.2; PAGE. 5-8	2003
H16	-7	有明海における水域環境特性に関する基礎的研究	松島雄一,小沢宏樹,宮本和治(日本大 大学院理工学研究科),増田光一,居駒知樹(日本大 理工),大塚文和(三洋テクノマリ)	日本建築学会学術講演梗概集 A-2 防火海洋 情報システム技術	VOL. 2003; PAGE. 461-462	2003
H16	-9	諫早湾潮受け堤防設置に伴う有明海の流況変化に関する研究	千葉賢,武本行正(四日市大 環境情報)	海岸工学論文集	VOL. 50 NO. 1; PAGE. 376-380	2003
H16	-12	有明海における潮汐振幅の経年変動	塚本秀史(弓削高専),柳哲雄(九大 応用力学研)	日本海洋学会大会講演要旨集	VOL. 2004, 春季; PAGE. 108	2004

表 2(2) 潮流、潮汐等と海域の環境との関係に関する文献シート

	分類	文献名	著者	出典	巻,号,頁	発行年
H16	-13	潮汐・流れを中心とした有明海の物理環境に関する論点整理	灘岡和夫(東工大)	沿岸環境関連学会連絡協議会第10回ジョイントシンポジウム「有明海生態系異変原因解明の到達点」	PAGE.20-23	2003
H16	-15	有明海における M2 潮汐の変化に関する論議へのコメント	武岡英隆(愛媛大 沿岸環境研セ)	沿岸海洋研究	VOL. 41 NO. 1; PAGE. 61-64	2003
H16	-18	有明海における潮汐・潮流減少の原因について	藤原孝道, 経塚雄策, 濱田孝治(九州大学大学院)	海の研究	VOL.13 NO.4;PAGE. 403-411	2004
H16	-19	有明海の流れ場を支配する物理過程	松野健(九大 応用力学研), 中田英昭(長崎大 水産)	沿岸海洋研究	VOL.42 NO.1;PAGE. 11-17	2004
H16	-20	有明海の潮汐・潮流の変化に関わる科学的問題と社会的問題	宇野木早苗	沿岸海洋研究	VOL.42 NO.1;PAGE. 85-94	2004

表 3 海域に流入する水の汚濁負荷量と海域の環境との関係に関する文献シート

	分類	文献名	著者	出典	巻,号,頁	発行年
H16	-4	有明海の海水交換・栄養塩収支の経年変動	阿部良平(九大),柳哲雄(九大 応用力学研)	日本海洋学会大会講演要旨集	VOL. 2004, 春季; PAGE. 110	2004
H16	-10	有明海湾奥部の水質変動特性に関する現地調査	清川徹,山西博幸,荒木宏之,茂木裕介,古賀憲一(佐賀大)	土木学会年次学術講演会講演概要集第7部	VOL.58, pp125-126	2003
H16	-14	リモートセンシングと地球統計学による有明海の水質環境の時空間解析	田村綾子(熊本大 大学院),小池克明(熊本大 工)	資源・素材	VOL. 2003, 大会プログラム; PAGE. 40	2003
H16	-17	有明海の海水交換・栄養塩収支の経年変動	柳哲雄(九州大),阿部良平(九大総理工)	沿岸環境関連学会連絡協議会第10回ジョイントシンポジウム「有明海生態系異変原因解明の到達点」	PAGE. 16-19	2003
H16	-19	連続観測による有明海水環境の現状把握	磯部雅彦,鯉淵幸生(東京大学大学院新領域創成科学研究科)	沿岸海洋研究	VOL.42 NO.1;PAGE. 27-33	2004
H16	-20	広域定期観測による有明海水環境の現状	堤裕昭,木村千寿子,永田紗矢香,佃政則(熊本県立大学),山口一岩,門谷茂(北海道大学大学院),高橋徹(熊本保健科学大学)	沿岸海洋研究	VOL.42 NO.1;PAGE. 35-42	2004

表 4(1) 赤潮、貧酸素水塊等の発生機構に関する文献シート

	分類	文献名	著者	出典	巻,号,頁	発行年
H16	-1	GIS と海色衛星の赤潮モニタリングへの応用	TAN C N,石坂丞二(長崎大 水産)	月刊海洋	VOL. 36 NO. 5; PAGE. 376-379	2004
H16	-3	有明海西部海域における高濁度層の形成と酸素消費過程	阿部淳(九大 大学院総合理工学府),松永信博(九大 大学院総合理工学研究院),児玉真史(中央水産研),徳永貴久(九大 大学院総合理工学研究科),安田秀一(水産大)	海岸工学論文集	VOL.50, pp966-970	2003
H16	-5	2002年夏季における有明海の水質動態解明	関根章雄,鯉淵幸生,有田正光,磯部 雅彦	土木学会年次学術講演会講演概要集 第2部	VOL.58, pp595-596	2003
H16	-6	有明海における水質変動の支配要因	鯉淵幸生,磯部雅彦(東大 大学院新領域創成科学研究科),佐々木淳(横浜国大 大学院工学研究院),有田正光(東京電機大)	海岸工学論文集	VOL. 50 NO. 2; PAGE. 971-975	2003
H16	-14	水質の長期変動に基づく有明海におけるノリおよび珪藻プランクトンの増殖制限元素の解明	川口修,山本民次,松田治,橋本俊也(広大院生物圏科学)	海の研究	VOL. 13 NO. 2; PAGE. 173-183	2004
H16	-17	有明海奥部海域における近年の貧酸素水塊および赤潮発生と海洋構造の関係	堤裕昭,岡村絵美子,小川満代(熊本県大 環境共生),高橋徹(みなまた環境テクノセ),山口一岩,門谷茂(北大 大学院水産科学研究科),小橋乃子,安達貴浩,小松利光(九大 大学院工学研究院)	海の研究	VOL. 12 NO. 3; PAGE. 291-305	2003

表 4(2) 赤潮、貧酸素水塊等の発生機構に関する文献シート

	分類	文献名	著者	出典	巻,号,頁	発行年
H16	-18	有明海奥部海域における大規模な赤潮発生時の海洋構造の特徴	堤裕昭,木村千寿子,永田紗矢香,佃政則(熊本県大),山口一岩(北大 大学院),高橋徹(熊本保健科大 保健科学)	日本海洋学会大会講演要旨集	VOL. 2003, 秋季; PAGE. 223;	2003
H16	-19	九州西部島原湾における春季の水塊分布	田中正和,島崎英行,長谷義孝ほか	熊本大学理学部紀要	vol.18 , No.1,pp.1-9	2004
H16	-20	赤潮はいつ発生するか?-八代海御所浦海域における自然環境要因の変化と赤潮発生について	嶋村清(九州東海大 工)	九州東海大学紀要 工学部	第 29 号, pp.35-41	2003
H16	-24	サテライトから見た有明海の赤潮動態	石坂丞二(長崎大学 水産学部)	沿岸海洋研究	VOL.42 NO.1;PAGE. 43-46	2004
H16	-25	有明海・諫早湾堆積物表層部に残された渦鞭毛藻シスト群集から見た水質環境の中・長期的変化	松岡數充(長崎大 水産)	沿岸海洋研究	VOL.42 NO.1;PAGE. 55-59	2004

表 5(1) 海域の環境と水産資源との関係に関する文献シート

	分類	文献名	著者	出典	巻号,頁	発行年
H16	-5	Heavy Metal Contamination in the Sediment and its Effect on the Occurrence of the Most Dominant Bivalve, <i>Ruditapes philippinarum</i> , on the Tidal Flats of Ariake Bay in Kumamoto Prefecture, the West Coast of Kyushu, Japan	TSUTSUMI H, TSUKUDA M, YOSHIOKA M, KOGA M, SHINOHARA R(Prefectural Univ. Kumamoto, Kumamoto, JPN), NOMURA Y (Hiroshima Univ., Hiroshima, JPN), CHOI K-S(Cheju National Univ., Jeju-do, KOR), CHO H-S (Yosu National Univ., Dundeok-dong, KOR), HONG J-S(Inha Univ., Incheon, KOR)	Benthos Research	VOL. 58 NO. 2; PAGE. 121-130	2003
H16	-13	有明海におけるナルトビエイの繁殖生態	山口敦子(長大水)	平成 16 年度日本水産学会大会要旨集	Vol.2004,P AGE.54	2004
H16	-14	有明海におけるタイラギの大量死と養殖による死亡要因の絞り込	逸見泰久(熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター)	沿岸環境関連学会連絡協議会第 10 回ジョイントシンポジウム「有明海生態系異変原因解明の到達点」	PAGE.71-7 4	2003
H16	-17	ベントスに関すること-とくにアサリ漁獲量激減に関連して	玉置昭夫(長崎大 水産 海洋資源教研セ)	水環境学会誌	VOL. 27 NO. 5; PAGE. 301-306	2004
H16	-20	有明海の栄養塩環境とノリ養殖 - ノリの不作は何故起こったか?	山本民次(広島大 大学院生物圏科学研究科), 川口修(広島大 生物生産)	水環境学会誌	VOL. 27 NO. 5; PAGE. 293-300	2004

表 5(2) 海域の環境と水産資源との関係に関する文献シート

	分類	文献名	著者	出典	巻,号,頁	発行年
H16	-21	有明海農業におけるノリ(海苔)モノカルチャーの形成 : 有明海漁業考現学序説	小林恒夫	佐賀大学農学部彙報	VOL.88, pp57-72	2003
H16	-28	有明海の干潟におけるアサリ個体群の衰退と底質中に堆積したマンガンの関係	堤裕昭(熊本県立大)	沿岸環境関連学会連絡協議会第10回ジョイントシンポジウム「有明海生態系異変原因解明の到達点」	PAGE.55-59	2003
H16	-33	「リシケタイラギの致死酸素飽和度」	秋本恒基、林宗徳、岩淵光伸、山本憲一	水産増殖	52(2), 199-200	2004
H16	-34	内湾および干潟における物質循環と生物生産 有明海漁業1 漁業の特徴	佐々木克之	海洋と生物	VOL.26 NO.3; PAGE.262-265	2004
H16	-35	内湾および干潟における物質循環と生物生産 有明海漁業2 アサリ漁業	佐々木克之	海洋と生物	VOL.26 NO.4; PAGE.340-344	2004
H16	-36	ノリ養殖と栄養塩ダイナミックス	渡辺康憲((独)水産総合研究センター西海区水産研究所),川村嘉応(佐賀県有明水産振興センター),半田亮司(福岡県水産海洋技術センター有明海研究所)	沿岸海洋研究	VOL.42 NO.1;PAGE .47-54	2004

2. 文献シートの構成

文献シートの構成を図 2 に示す。

No.	文献概要リストに記載されている通し番号	文献概要リストに記載されている分類項目毎の通し番号 その他については、さらに、詳細な分類を記載。	タイトル	
著者				
キーワード				
出典			発行年	

< 目的 >
 調査研究報告の目的を記載

< 結果 >
 ・ 目的に対する結果を記載
 （結果を示す図表番号）

表 参照した調査研究報告に記載されていた表番号を記載

図 参照した調査研究報告に記載されていた図番号を記載

図 2 文献シートの構成